

「アクションリサーチによる 災害応急対応力強化」

—2025/4/30 シンポジウム『防災庁への期待』
災害応急対応力をどう強化するか—

日本社会学会 山下 瞬（弁護士、東京大学）

自己紹介

1



- **ルールづくり**を専門とする弁護士（第二東京弁護士会所属）、元自治体職員。
- これまで、**国・自治体・公共団体**（弁護士会、公認会計士協会）などで、**1,000以上**のルールづくりに参画
- 現在、東京大学大学院博士課程において、**法社会学・法政策（立法学）**の観点から実証的な研究を行っている。

被災者・被災地との関わり①

2



出典：栃木県小山市「平成27年9月関東・東北豪雨災害記録」

被災者・被災地との関わり②

日弁連・令和6年能登半島地震等無料法律相談

電話法律相談（フリーダイヤル）

下記のとおり、令和6年能登半島地震の被災者向けに、このたびの災害による法的な悩みごとについて、弁護士による電話相談を実施しています。また、2024年9月に発生した、能登地方の豪雨災害の相談も受け付けています。なお、被災者ご本人だけでなく、ご家族・支援者・相談員等もご利用可能です。

（実施期間）2024年2月5日（月）から2025年6月30日（月）まで（予定）

（受付時間）月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）：10時00分～16時00分



- ・全国共通ダイヤル、通話料および相談料無料。
- ・東京の相談担当弁護士がお電話をお受けします。
- ・ご相談内容によっては、 法テラス（日本司法支援センター）被災者相談援助を利用する場合があります。氏名・生年月日・住所などをお伺いする可能性があります。

出典：日本弁護士連合会ホームページ（https://www.nichibenren.or.jp/activity/human/shinsai/2401_noto.html）

令和6年能登半島地震被災者向け無料法律相談データ集計及び分析結果①

相談件数・相談者数

| 相談を担当した弁護士の所属会・弁連 | 相談受付方法・相談方式 | | | | |
|-------------------|-------------|-----------|---------|-------------|-----------|
| | 電話相談 | センター型面談相談 | 出張型面談相談 | 担当弁護士の事務所相談 | ウェブ受付電話相談 |
| 1 金沢弁護士会 | 459 | 0 | 2 | 5 | 2 |
| 2 富山県弁護士会 | 136 | 9 | 323 | 1 | 0 |
| 3 新潟県弁護士会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 福井弁護士会 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 5 東京三会 | 1,213 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 6 近畿弁連 | 157 | 0 | 9 | 0 | 6 |
| 7 中部弁連 | 3 | 0 | 6 | 0 | 1 |
| 8 中国地方弁連 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 9 関弁連（東京三会以外） | 10 | 0 | 5 | 0 | 1 |
| 10 四国弁連 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 合計 | 1,979 | 9 | 351 | 6 | 12 |

総相談件数 2,357

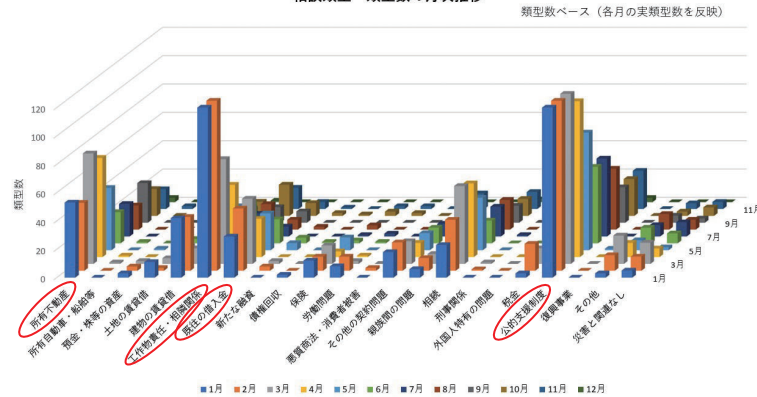
災害関連相談件数 2,275

※総相談件数から「災害と関連なし」「分類不能」の各件数を除いた件数

出典：日本弁護士連合会「令和6年能登半島地震被災者向け無料法律相談データ集計及び分析結果 別添資料：全体版」1頁

令和6年能登半島地震被災者向け無料法律相談データ集計及び分析結果②

相談類型・類型数の月次推移



出典：日本弁護士連合会「令和6年能登半島地震被災者向け無料法律相談データ集計及び分析結果 別添資料：全体版」11頁

発災時の応急対応力における課題

6

- 自治体の法務（政策法務）能力
 - ▶ 防災関係の法令への対応
 - ▶ 被災者のニーズを施策・制度へ反映させる力
- 被災者・被災地ごとの対応の必要性
 - ▶ 被災者・被災地ごとに被災の程度は異なる
 - ▶ 全国一律的な対応では被災地や被災地のニーズを汲みきれない部分も残る

アクションリサーチ

7

- アクションリサーチとは、現場における実践と内省を循環的に組み合わせることで課題に向き合うもの。
- アメリカの心理学者クルト・レビン（Kurt Lewin）が提唱
 - ▶ 専門家が「正しい」知識を指導するより、グループを作って試行錯誤を重ねた方が良い結果が実現する。

グループ・ダイナミクス

トレーニング・グループ



出典：平井太郎「地域でアクションリサーチ」（2022）

防災庁に期待すること（総論）

8

- 防災の専門家集団として、「現場の尊重」を重視したサポートを。
- 市民・自治体における「試行錯誤の場」（プラットフォーム）づくりのコーディネート。

